

1. 第2次千葉市文化芸術振興計画

第2次千葉市文化芸術振興計画に「東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした文化芸術施策の発信強化」を重点プロジェクトとして位置付け、本市の文化力の基盤を強化し、併せてそれを世界の人々に発信するための施策を展開する。  
 さらに、2020年を超えて、未来の文化形成をする持続可能な仕組みにつなげていく。  
 施策展開としては、千葉市が持つ地域資源や歴史的資源、人的資源を活かし、多くの千葉市民が文化芸術を通して千葉市を考えることで千葉市の魅力を再発見し、新たに表現していくことに重点を置く。

2. 本市の持つ魅力的な文化力

本市が育んできた固有の文化力

加曽利貝塚、浜辺、里山など、千葉市の豊かな自然のなかで生まれ、未来に受け継がれていく、本市が育んできた固有の文化

新しい文化力

千葉市の資源を活用しながら様々な挑戦を続ける、メディア芸術など、技術の進展によって生まれた新しい文化

本市が持つ2つの魅力的な文化力を活用し、市民のみならず、県内外にも広く発信する。

3. 千葉市行動計画【2018年度版より抜粋】

千葉市行動計画 掲載施策

①広域的な文化芸術施策の連携強化	都内の美術館との共通パスポートの導入や多言語化及びWi-Fi対応など、都市間の連携による文化芸術施策の展開を検討
②車椅子アートプロジェクト（チバリアフリー）	車椅子スポーツの振興にあわせて、地元企業や団体等の連携を図り、文化芸術の視点から車椅子をテーマとして文化イベントを実施
③PLAY THE WHEELSの実施	東京2020大会に向けた機運醸成を図るため、メディアアートとスポーツ競技用車椅子の試乗体験を融合させた「PLAY THE WHEELS」を2年前イベントに出展
④文化体験等によるおもてなし	市内の文化芸術団体やアーティスト等が主体となり、千葉の魅力を感じてもらえるような体験プログラムや交流の機会など、千葉らしい文化によるおもてなしを検討
⑤新たな文化プログラムの実施	東京2020大会に向けた新たな文化プログラムを策定し、本市ならではの文化芸術事業を市民や世界の人々に発信

取組状況

共通パスポート展開 展示説明の多言語化
平成28年度より毎年度実施
平成29年度より毎年度出展
例：ベイサイドジャズ・伝統芸能祭り・市民創作ミュージカ
平成30年度より検討開始
平成32年度開催予定 ※平成31年度「浮世絵コレクション」実施

ジャポニスムと浮世絵展の開催  
※追記  
千葉市美術館のリニューアル後に、オリパラ時の訪日外国人も視野にいった大規模な浮世絵展を開催

4. 「文化プログラム」についての考え方、既存事業の位置付け、新たな文化プログラム事業

市独自の文化プログラムの考え方

市の文化芸術施策の発展を目的とする第2次千葉市文化芸術振興計画の重点プロジェクト「東京オリパラを契機とした文化芸術施策の発信強化」が図れる事業  
 ※マーク認証の有無問わず

既存事業を市独自の文化プログラムに位置付け

①広域的な文化芸術施策の連携強化 ②車椅子アートプロジェクト（チバリアフリー）  
 ③PLAYTHEWHEELSの実施 ④文化体験等によるおもてなし  
 （例：ベイサイドジャズ・伝統芸能祭り・市民創作ミュージカル）  
 ※①～④は重点プロジェクトの施策展開に記載あり。④の例は事務局案として提案

新たな文化プログラムの狙いと展開

【狙い】  
 ・市の地域資源（美術館・里山・海辺等）と歴史的資源（加曽利貝塚・縄文土器・夜灯し等）と人的資源（アーティスト等）を活用することで、市民が市の魅力を再発見できる  
 ・市民がオリパラ後も文化芸術活動を市内で主体的に展開したいと思えるようになる  
 ・千葉市を基盤にアーティスト同士の繋がりが生まれ、積極的なアート活動が始まる  
 【展開】現代アート（メディア芸術・写真など）を主軸とした展開  
 ※いちからはアートミックスとの連携

5. スケジュール

30年度	31年度	32年度
30.12 千葉市文化芸術振興会議での報告等。	31.4 ~ 事業計画書決定。資源等のリサーチや参加アーティスト・イベント等の実施場所の選定開始。	<b>芸術祭の開催</b> ・プロアーティストやワークショップに参加した市民の作品展示
31.1 検討会開催。実行委員会の構成の検討。	31.5 ~ 体験イベント・ワークショップでの実施内容の企画調整。アーティストに、体験イベント企画・ワークショップ講師・32年度芸術祭に向けた作品製作の依頼。	・美術館のリニューアルオープンに連動させたイベントの実施
31.2 実行委員会立ち上げ。実行委員会で、新たな事業の事業計画書策定の協議開始。	31.9 <b>体験イベント実施</b> ：（回数：1回 ターゲット：不特定多数 体験規模3,000人） 31.10 ~ ① <b>ワークショップ開催</b> ：（回数：1回 ターゲット：子供・大人 体験規模延べ800人） ② <b>ワークショップ開催</b> ：（回数：1回 ターゲット：子供 体験規模延べ200人） ③ <b>継続性のあるワークショップ開始</b> ：（回数：3回 ターゲット：子供・大人 参加規模延べ100人）	・屋外でアートイベント実施